



桃の次世代を担うオリジナル新品種 山梨県が新品種「夢みずき」をPR!

JAフルーツ山梨「夢みずき」もも試食宣伝会

- 期日：7月10日(火)
- 場所：大田市場内 東京青果(株)
- 主催：JAフルーツ山梨
- 内容：オリジナル新品種「夢みずき」の試食宣伝

期待の新品種「夢みずき」が本格出荷開始!

今回 PR された「夢みずき」は、山梨県果樹試験場で育種され、平成 25 年に品種登録された山梨県のオリジナル品種です。「浅間白桃」と「暁星」を交配して育成され、大玉で色付きが良く、食味が良いという特徴を持っており、これからの山梨県産桃を代表する品種になると期待されています。収穫時期は7月中旬から下旬で、「日川白鳳」と「白鳳」の端境を埋める品種となっています。栽培は山梨県内に限定されており、現在は約3千本が作付けされ、作付面積は今後も拡大していく方針とのことです。

「夢みずき」の本格出荷は今年からで、春日居・加納岩・奥野田・大藤の4共選所から出荷されています。

都中央での山梨県産の桃に関するPR活動の状況

平成 29 年の都中央における桃の入荷量は、山梨県が1位(占有率 49.7%)、福島県が2位(占有率 32.6%)、山形県が3位(6.7%)でした。山梨県は7月を中心とした出荷、福島県は8月を中心とした出荷となっており、上位2県で都中央全体の入荷量の約8割を占めています。

山梨県は桃において都中央で圧倒的なシェアを獲得していますが、PR活動も積極的に行われており、出荷最盛期となる6月下旬から7月にかけて、計7回のPRイベントが開催されました。PRイベントでは、毎回多くの市場関係者の注目を集め賑わいを見せていました。また、産地からは最盛期を迎えている品種の紹介や作柄等の情報提供が行われていました。

東京青果株での山梨県産桃に関するPRイベント一覧

月日	イベント概要
6月28日	JAフルーツ山梨 山梨マンモス共選所もも試食宣伝会
7月3日	山梨県オリジナル新品種もも「夢みずき」試食宣伝会
7月5日	JAフルーツ山梨桃トップセールス【第1弾】
7月10日	JAフルーツ山梨「夢みずき」もも試食宣伝会
7月17日	JAフルーツ山梨春日居支所もも品評会
7月20日	山梨県南アルプス市・JA南アルプス市合同トップセールス
7月24日	JAフルーツ山梨桃トップセールス【第2弾】



各共選場の「夢みずき」を展示



試食提供された「夢みずき」



「夢みずき」(6玉入り)